

外国出張報告書

平成 26 年 12 月 12 日

1. 出張国名 フィリピン、ミャンマー、タイ
2. 出張月 平成 26 年 11 月
3. 出張目的 サトウキビ栽培における施肥窒素の溶脱観測と結果の検討等：A

4. 成果の概要

ネグロス島北部のサトウキビ試験圃場において、施肥窒素の溶脱観測の進捗状況を確認した。またサトウキビによる施肥窒素の吸収を調べるため、窒素安定同位体比 ($\delta^{15}\text{N}$) 分析用の作物体サンプルの採取を行った。

本調査で、窒素安定同位体比分析用のサトウキビ 15 固体中 11 固体の生育を確認し、その 11 個体を対象にサンプリングした。サンプリングしたサトウキビは、根・茎・葉の部位に分け、それぞれをマニラの農業省土壌・水管理局に持ち込み、乾燥および同位体分析のための処理を行った。また処理区間の生育の違いを調べるために、全区画において、生育調査を行い、草丈・葉長・茎径を計測した。

試験圃場において 7 月以降土壌水分の計測を行っている、土壌水分センサーの校正のための現地試験を実施し、それにともない不攪乱土壌を採取した。

採取した土壌は室内実験を行うため、横浜植物防疫所成田支所での手続き後、日本へ土壌を持ち込んだ。